

情報セキュリティ技術とその応用システム：

イングランド東南部における研究開発およびサービスの動向セミナーのご案内

南東イングランド開発公社

南東イングランド開発公社では、情報セキュリティ分野で世界的な評価を得ております南東イングランド地域での、様々な研究、トレンド、開発の実情を総合的にご紹介するセミナーを開催いたします。

セミナーでは以下のような主題を取り上げます。

- ヨーロッパで最大のセキュリティ研究グループとの共同研究の可能性
- 世界最大の携帯電話会社による大学との連携についての説明
- セキュリティの構築と、外部からの侵入に対する脆弱性とチェック機能の検証
- PKI(認証基盤)の将来的な動向の論点
- Eコマース、金融取引などを行う上で有益なPKIの新しいソリューションについての説明
- 取引と決済におけるセキュリティに関する英国、あるいはヨーロッパの研究動向の概要
- eコマース、スマートカード取引でのアクセスコントロールと本人確認の顔面認証の紹介

英国ロンドン大学ロイヤルホロウェイ校のインフォメーションセキュリティグループ (ISG) はアルゴリズムに基づく暗号化技術や認証手続きの研究において国際標準化作業で大きな役割を果たしているほか、スマートカード、eコマース、セキュリティ管理、移動体通信におけるセキュリティ、各種セキュリティ技術の統合などに関する研究を行っています。

ISGグループは情報セキュリティに関する様々な研究分野で中心的な存在となっており、種々の英国内、また国際的なプロジェクトに関わっています。また情報セキュリティ分野の企業200社以上への協力を行っており、その多くは欧米の企業ですが、近年は、関係者が等しくグローバル化の恩恵を蒙るような環境を作り出して行こうというポリシーに従って、日本企業のヨーロッパへの技術進出のサポートを活発に行うようになってきています。

また今回参加された企業はすべてISGとつながりをもっております。

ボーダフォン社は昔からのパートナーで、最近ドイツのGiesecke & Devrient社と共にISGスマートカードセンターの出資者になりました。このプロジェクトはスマートカードの研究、開発で世界の高度技術センター (COE) を創造することを目指しています。Mike Walker教授はボーダフォングループの総合研究開発部門のディレクターであると同時にロイヤルホロウェイの通信学教授でもあります。

Ascertia社の創立者の内二人は、ロイヤルホロウェイ出身で、ロイヤルホロウェイは同社の発展に協力してきた株主でもあります。同社は最新の技術による完成度の高いOCSP (Online Certificate Protocol) サーバを送り出している外、コンサルティングや、アプリケーションをPKI対応とするカスタムサービスを提供しています。

Thales社のISGとの関係も長いものです。同社が開発した暗号方式にフレキシブルに対応できる基盤技術は特に話題になっています。これは同社の暗号化製品 DC2KをTDESアルゴリズムを使用してフレームリレイにインストールすると、同じDC2Kを国のアルゴリズムをサポートしてIPネットワークにアップグレード出来るというものです。これにより国の公私ネットワークに関するトップシークレットが保護され、国の最新のアルゴリズム、あるいはその最新バージョンアップ版をダウンロードすることができます。

Thalesのような会社の業務は防衛ということに深く関わっています。実際今回参加されるQinetiQ社も英国の防衛関係研究開発のエリート組織であるDERA出身者が作った強力な科学技術集団です。

OmniPerception社はSurrey大学からのスピンオフ企業で、顔面認証技術分野のリーダー企業です。

eコマースやスマートカードの機能を最大限に引き出す為には、極めて高いレベルのセキュリティが求められます。ヨーロッパでの最新の動向のいくつかをご覧頂くことにより、このセミナーが日本と英国とのこの重要な分野での関係が深まる一助になればと願っています。

セミナー開催概要

日時 : 平成15年7月8日 (火)
午後1時より午後6時まで (受付開始12時20分)
(同時通訳付)

場所 : 早稲田大学国際会議場・井深ホール (早稲田大学北門前)

レセプション : 午後6時より会場内別室でカジュアルなレセプションを開催致します。

お問合わせ : Mr Christopher James Jackson (日本語可)
Managing Director, Euro Japan Marketing Limited - Tokyo Office
Tel. +81 3 3664 5062 Fax. +81 3 3664 5063

*参加無料で、どなたでもご自由に講演者にご歓談頂けます。

ご参加ご希望の方は下記申込書にご記入の上、ファックス、またはメールにてお申し込み下さい。また飛び入り参加についても可能ですが、配布資料が足りないことがあります。

セミナープログラム

Secure Communications - Secure Transactions
Information Security Research, Technology and Services
in the South East of England

Doors Open at 1220

- Welcome (1300-1305)
Mr Neil Impiazzi
Head of International Business, South East England Development Agency
(www.seeda.co.uk)
- Opening remarks (1305-1315)
Professor Kanta Matsuura
Interfaculty Initiative in Information Studies, University of Tokyo
- Information Security at Royal Holloway, University of London: Partnerships with Industry (1315-1345)
Prof. Fred Piper,
Head of Information Security Group, Royal Holloway, University of London
(www.isg.rhul.ac.uk)

- Next Generation PKI (1345-1415)
Mr Omar Farooq
Chief Operating Officer, Ascertia
(www.ascertia.com)
- The Benefits of Biometrics for Information Security' (1415-1445)
Mr Martyn Gates
Marketing Director, OmniPerception
(www.omniperception.com)
- Research and Development at Vodafone - organisation, scope and overview of work in security and smart cards (1445-1515)
Mr Hiroshi Sato
Vodafone Group R&D Team, on behalf of Professor Mike Walker
Vodafone Group Director of Research and Development
(www.vodafone.com)
- Q&A(1515-1530)
- Tea Break(1530-1550)
- Flexible Cryptography (1550-1620)
Mr Richard Mallett
Managing Director, Thales E-Security Asia Pacific
(security.thalesgroup.com).
- Domain Based Security: insight into future architectures (1620-1650)
Ms Natsuko Sato
Business Development Manager, QinetiQ
(www.qinetiq.com/services/information.html)
- Security issues in smart card payment schemes (1650-1720)
Dr Keith Martin,
Information Security Group, Royal Holloway, University of London
(www.isg.rhul.ac.uk)
- Q&A(1720-1730)
- Panel Discussion - The Future of PKI - Current research, standards, market drivers and competing technologies (1730-1820)
- Vote of Thanks (1820-1825)
Mr Christopher Jackson
Managing Director, Euro Japan Marketing Limited & Japan Representative,
Royal Holloway, University of London
- Closing Remarks (1825-1830)
Mr Neil Impiazzi

- Dinner Reception (1830-2030)

(送付先) Email: cjackson@eujapan.co.jp FAX : 03-3664-5063

セミナー参加申込書

- () 情報セキュリティーセミナーに参加します。
() レセプションにも参加します。

氏名 :

所属先 :

電話 :

ファックス :

E-mail :
